

# ハワイ州の中高等学校における情報教育の現状

## 映像編集を特色とした教育を中心に

松本宗久\*1

[概要]本年3月にハワイ州の2つの中、高等学校を訪問した際に、コンピュータ実習室を見学させていただき、ハワイ州の進んだコンピュータ教育の現状に触れることができた。本報告は、そこで見学できたいくつかの教室について具体的な設置状況を紹介することを目的とする。

### はじめに - 見学の経緯 -

ハワイ州では、毎年3月上旬にE - Conferenceと題したE - learningに関する会議が開かれている。大阪学院大学は毎年この会議に参加しており、筆者もその関係から本年の会議に派遣され、その折りに本学インターンシッププログラムの日本語教師実習の受け入れ先であるIlima Intermediate School ([www.k12.hi.us/~ilima](http://www.k12.hi.us/~ilima))及びJames Campbell High School ([www.campbell.k12.us](http://www.campbell.k12.us))を訪問した。

### ハワイ州のコンピュータ教育の状況

ハワイ州では過去にアップル社が学校に対して大量のコンピュータの寄付を行ったので、Macintoshの普及が進んでいる。感覚的には丁度日本とは逆に、Macでできない事はWindowsで行うといった感じである。教育委員会に当たるDOEのテクノロジー部門ATRでもその多くがMacであった。確認すると、Macの占有率は小学校ではほぼ100%、年齢が上がるにつれ次第に低下し、高校ではWindowsと50 - 50になるそうである。

またその特性を利用してか、動画編集を教育にとりいれる動きがさかんであり、公立学校の小中高校生を対象にしたIsland Movie Contest ([www.islandmovie.k12.hi.us](http://www.islandmovie.k12.hi.us))

us)と題したデジタルストーリーコンテストも行われている。

### Ilima Intermediate

Intermediateとは日本でいう中学2,3年生にあたる学校であり、そのコンピュータ実習室は日本の実習室に近いものであった。筆者が見学した教室の構成はiMac 600MHz 16台、アメリカでのみ販売しているG3 Mac 16台、レーザープリンター4台というものであった。ソフトウェアは極シンプルなもので、日本では一般的なMS - Officeもインストールされていなかった。尚、特に日本語教育を意識した教室ではなかったが、試用したパソコンは日本語が普通に使用できた。

### James Campbell High

J.C.高校はIlima中学の隣にある。一般のコンピュータ教室のほか、CAD教室、パソコン組み立て教室、Multimedia roomが存在し、授業の目的に応じて運用されているようである。

個別に述べると一般の教室はIlima同様日本の教室とあまり大差なく、プロジェクターの設置も日本と同様であった。

CAD教室はWindows XP上でAutoCAD LTというCADソフトを使用して授業を行っており、訪問した際は「自分の住みたい家」というテーマで、上級者は実際に設計図を、初心者には描画ツールとしてCADソフトを使っていた。

パソコン組み立て教室はガレージのような場所になっており、生徒自身でパソコンを組み立てたり、LAN構築が行えるようになっている。尚、生徒が組み立てたパソコンを教室で利用するようなシステムになっているそうである。

Multimedia roomでは、先に紹介したムービーコンテストを念頭に置いてか、iMac600MHzとeMacを設置し、デジタルビデオカメラから映像をパソコンに取り込んで、編集を行っていた。ソフトはFinalCutProやDVDSudioProといったようなプロも使用しているようなものを使用しているそうで、その点を伺ったところ、小中学校ではハードに同梱されているiMovieやiDVDといったソフトを使用し、慣れたところでそうした上級者向けのソフトを使うそうである。尚、ムービーの評価に関してはRubricと呼ばれる評価表を用いて行われるとのことであった。

#### 結び - 課題と展望 -

今回、ハワイ州の学校を実際に訪問させていただくことにより、現場の状況を肌で感じることができ、大変有意義であった。今後、これを元にして、本校でまずパソコンクラブの生徒から、パソコンを利用した動画編集を行えるよう準備を始めており、早ければ2学期からクラブ活動の一環に取

り入れる予定である。また、直接には関係ないが、J.C.高校と、本校の間で生徒同士のメール交換や、ビデオ会議に関する要望が寄せられ、6月にはJ.C.高校の先生が、本校を訪問。今後とも交流が活発になることが期待される。

最後になりましたが、筆者の訪問を快く受け入れてくださったIlima中学及び、J.C.高校のみなさん、それを陰で支えてくださった、大学事務局ほか大勢のみなさんにこの場を借りて感謝いたします。

\*1 munehisa matsumoto: 大阪学院大学高等学校 e-mail munehisa@htc.ogu-h.ed.jp